

ねっとわーく

市町村のページ [シリーズ：公民館と子どもたち]

- ・センターで校区ぐるみの子育て・親育ち
……………北九州市立寿山市民センター
- ・ペタンクを通じて世代間交流 ……………大野城市
- ・みなみ子供広場 ……………みやま市・南公民館
- ・子育てグループへの支援 ……………嘉麻市嘉穂地区公民館
こちら県公連
- ・平成20年度福岡県公民館実践交流会の報告
- ・平成20年度福岡県公民館地区別研修会一実施状況一

平成21年3月 公民館情報通巻 113号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

シリーズ：公民館と子どもたち



しめ縄飾りの出来上がり：みやま市・南公民館

センターで校区ぐるみの 子育て・親育ち

じゅざん
北九州市立 寿山市民センター

地域の概要

「夢を語り合うまち寿山」をテーマに、まちづくりに取り組んでいる校区です。

校区の人口は約6,800人、世帯数約3,600世帯です。小倉北区の足立山麓に位置し校区内には小笠原藩の菩提寺「広寿山 福聚寺」「小笠原一族の墓地」杉田久女の句碑がある「円通寺」などの史跡や文化財が多くみられます。また、近隣には和気清麿公を祀った「妙見神社」などがあります。山手一带は「足立公園」となっており、春には桜、秋には紅葉の名所として知られ、文化と自然あふれる校区です。

「生き生きバリアフリー講座」(主として小学生対象)

障害がある子どもたちが地域行事に参加するきっかけづくりをすることや、健常児と障害児が交流することでより相互の理解を深めることなどを目的に「生き生きバリアフリー講座」を開催しています。5年目となる今年度は15回実施し、様々な体験を通して、友だちづくりをします。その中でも、農作業体験では農作物の植え付け、草取り、収穫、料理などまるごと体験をすることで、食物の大切さを学びます。地域で行われている「寿山祭り」では自分たちで作った御輿で参加します。物の大切さを体で感じて欲しいことから、ペットボトル等の廃材を使って御輿をつくります。子どもたちはこの体験を通して障害児と健常児が自然体で交流できるようになりました。また、上級生が下級生の面倒を見るようになり、年齢間のバリアフリー効果が見られました。

ペットボトルでお輿作り



主なプログラム

- フラワーアレンジメント
- 農作業を通して『食育』
じゃがいも・たまねぎ・さつまいもの植え付け、収穫、それを食材に料理教室。
- 七夕祭り
- むかし遊び E-mail: js-sf@ktqc03.net
けん玉、皿回しに挑戦
- 寿山の祭り
ペットボトルで御輿作り、時代道中への参加
- 門松作り

「おいでおいで、み～んなおいで！」(主として乳幼児対象)

毎月、第3火曜日10:00～12:00にゼロ歳児から未入園児までの乳幼児とその母親を対象に、育児、体操、料理教室などを行なっています。

育児ボランティア「ひだまりの会」の協力で、気軽に遊び感覚で参加してもらいながら、親同士やボランティアとのつながりも生まれ、あったかい交流の輪が広がっています。

主なプログラム

- 親子で体操、● 親子で食事(スープバイキング)

親子で体操



※ 寿山校区は、「アンビシャス広場」も実施しています。

地域ぐるみで子育て支援をしていく中で「親育ちの場」として市民センターが役立っているようです。

ペタンクを通じた世代間交流～南ヶ丘1区公民館の取組～

大野城市

当公民館は大野城市の南部に位置し、約2,100世帯・人口5,100人を有する住宅地の拠点施設です。

当館の豊田 潤^{とよだじゅんじ}二館長は自ら地元の小学校に出向き、総合学習の時間に竹とんぼなどの「昔の遊び」を伝授したり、大野城市が生涯スポーツとして力を入れているペタンクの教室を実施し、放課後の子どもたちの居場所づくりと世代間交流を図る事業に積極的に取り組んでいます。

* ペタンクは、フランスを発祥の地とし、鉄の球を投げていかに標的に近づけられるかを競うシンプルな競技で、子どもから高齢者まで楽しむことができます。 *

10月26日（日）には、日頃の練習の成果を発揮すべく、ペタンク大会が開催されました。子どもから大人まで30名以上の参加者が集まり、子どもたちは元気にフィールドに飛び出し、あちらこちらで球を投げ始めました。じっくりと的を狙い、小さな体を精一杯使って球を投げ、的との距離を測っては一喜一憂する子どもたち。審判員であり、指導者でもある大人たちは、その姿を笑顔で見守っています。公民館の脇にある大きな木の下で繰り広げられる様子は、最近では少なくなった、ほほえましい光景でした。

中にはこの日がペタンが初めてという子もいましたが、指導者の懇切丁寧なルール説明のおかげもあり、すぐに要領を覚えて、他の子と同じように堂々とプレーし、また、鉄球を使用するだけに「球の扱い方も、一歩間違えると危険なんだよ」「周りの人に危なくないよう、気をつけて投げましょうね」といった、当たり前のように近年おろそかにされつつある、マナーや思いやりの精神も、改めて大人から子どもたちに伝えられていました。

ペタンクを楽しんだ後は、大人も子どもも一緒になって、お昼ご飯の豚汁などを食べながら、結果発表などが行われ、楽しい時間はあっという間に終わってしまいました。

さらに、南ヶ丘1区公民館では、子どもたちの遊びや勉強をする場として、毎週日曜日を子どもたちのために全館開放し、子どもたちの居場所確保を積極的に展開しています。

南ヶ丘1区の体育部長さんは「冬は手がかじかんで、鉄球を触るのも大変だから、室内用のペタンクセットを備品として買いました。冬の間ペタンクを忘れてもらっては困るから、日曜日は子どもたちにどんどん使ってもらわないとね」と、笑いながら教えてくれました。



みなみ子供広場

みやま市・南公民館

南公民館活動の拠点施設「瀬高農村環境改善センター」(H6年竣工)は、福岡県南部の田園地帯に位置し、校区は、約1,300戸、人口4,300人、南小学校児童数210人(H20年度)で、施設の年間利用者数は15,258名(962件—H19年度)です。

南校区活動は、南公民館ほか19団体で組織された「南校区まちづくり協議会」(H18年度設立)で運営されています。

現在、当協議会の活動は、これまでの南校区公民館活動を基盤に、更に校区民ひとり一人が主体となって住みやすいまちづくりを築こうと、団体枠を広げ、まちの将来像を「みなみ校区将来美ジョン」に描き、地域の自然環境、伝統文化などを生かし、住民の絆を深め、安全、安心な暮らしやすい校区づくりを展開中です。

その活動の一つとして、南公民館を中核とした子どもたち対象の「みなみ子供広場」事業があります。「みなみ子供広場」は、年間を通じて、公民館施設を利用して毎週土曜日に小学生たちが集い、遊びや工作、スポーツや文化、生活体験、ボランティア活動等を体験しています。子どもたちを支援するのは、趣味や教養講座を学ぶ「さざんか学級」をはじめ「まちづくり協議会」の各種団体のみなさんです。

この広場は平成14年度に開設し、平成19年度までに延べ日数約250日、参加児童数約4,900人、支援ボランティア約1,850人です。そのほか、「子ども声掛け見守り事業」「子ども110番の家」事業など地域の温かい支援の拡がり、子どもたちに安心安全感を与えています。

子どもたちは、南小学校の総合学習を通じて地域へのお礼として、地域ボランティアの皆さんを招き感謝祭を公民館で行い、公民館入り口には、南小学校5年生の手作り花壇の約80本程の可愛い花たちが迎えます。

このように、南公民館は学校、家庭、地域が一体となって安全、安心のまちづくりに取り組んでいます。



みんなで稲刈りをしました。



問い合わせ先：みやま市教育委員会 生涯学習課 担当：課長補佐兼係長 松崎正和
(〒835-0024 みやま市高田町濃施480 TEL 092-64-2165・FAX 092-64-2170)

子育てグループへの支援

嘉麻市嘉穂地区公民館

嘉麻市嘉穂地区公民館では、子育てグループ、3団体「嘉穂っ子クラブ」「嘉穂っ子キッズ」「NPキッズ」の支援を行っています。

「嘉穂っ子クラブ」は、平成12年度に福岡県教育委員会の「家庭教育パイロット事業」の委託を受けたのをきっかけに、社会教育係と保健師の呼びかけで発足した乳幼児とその保護者の育児サークルです。保護者の自主運営で市の福祉施設を拠点に活動していましたが、その後、嘉穂地区公民館を拠点として活動しています。月に2回4時間程度、室内だけではなく、併設する図書館での読み聞かせ（写真1）や中庭での水遊び（写真2）など、毎回10組ほどの乳幼児と保護者が集い、公民館に賑やかな声を響かせています。

「嘉穂っ子キッズ」は「嘉穂っ子クラブ」を卒業した子どもとその保護者が中心で、野外活動などを行っているサークルです。話し合いや座談会・研修会などで公民館を利用しています。

「NPキッズ」は、今年度中央公民館で行われた、嘉麻市大隈小学校区家庭教育推進協議会主催の子育て・親育ち講座「完ぺきな親なんていない（Nobody's Perfect）プログラム」（8回連続講座）の受講者で、受講後、自主的にグループ活動をはじめました。活動開始時には、施設団体登録申請の仕組みを説明し、場所の提供を行うなど、月に1度3時間程度の活動の支援を行っています。

以上のように公民館としては、乳幼児とその保護者で自主運営しているグループの自主性を尊重した上で、利用しやすい拠点の場所となるよう配慮しています。（写真3）

子育てグループへの支援は、各地域の子ども会活動や、青少年健全育成住民会議などの住民活動につながるるとともに、今後の家庭教育支援事業においても住民の方々と協働していきたいと思えます。

連絡先：嘉麻市中央公民館 TEL0948-57-0080 FAX0948-57-3661



写真1 布の絵本の会による読み聞かせ



写真2 中庭での水遊び



写真3 助産師によるベビーマッサージ

平成20年度福岡県公民館実践交流会 - 報 告 -

平成20年度「福岡県公民館実践交流会」が平成21年2月4日（水）に、福岡県立社会教育総合センターにおいて開催されました。

参加者は592名で昨年度同様例年を大幅に上回り、各分散会場とも満員の状態でした。



本年度は、高齢者教育、家庭教育、人権教育、地域づくり、ボランティア活動、国際交流、環境教育、団体育成・サークル活動、学社連携・融合、男女共同参画、青少年教育、自治公民館活動の分野に加え、新たに「特色ある公民館活動」の分野を設け、発表資料を参加者全員に配付しました。

合計16事例の実践発表と活発な質疑応答や意見交換、情報交流が行われました。

開会行事挨拶（正平福会長）



事例発表（視聴覚室）



事例発表（大研修室）



質疑応答（自由研修室）



事例発表（講堂）

なお、実践発表の内容については、ホームページの「公民館福岡」に掲載します。

アンケート集計結果

アンケート提出者：223人

福岡県公民館実践交流会への参加は何回目ですか

1回目：87人(39%)	4回目：15人(7%)
2回目：46人(21%)	5回目以上：33人(15%)
3回目：39人(18%)	

公民館活動に関わって何年ですか

1年：41人(18%)	4年：12人(5%)
2年：39人(18%)	5年以上：93人(42%)
3年：32人(14%)	

1 時期、日程はどうですか

よい：188人(84%)	悪い：31人(14%)
--------------	-------------

2 実践発表の数はどうですか

適当：196人(88%)	多い：26人(12%)
少ない：1人(0%)	

3 プログラムの時間配分はどうですか

実践発表

適当：193人(87%)	長い：4人(2%)
短い：24人(11%)	

質疑応答

適当：182人(82%)	長い：12人(5%)
短い：16人(7%)	

4 今回、参加してどうでしたか

大変参考になった：57人(26%)	参考になった：159人(71%)
あまり参考にならなかった：4人(2%)	参考にならなかった：1人(0%)

こちら県公連

5 あなたの館で特に力を入れている分野は何ですか（複数回答）

分野	回答数				事業名
	公立	自治	記入なし	計	
高齢者教育	21	6	13	40	・年長者と小学生とのふれあい交流事業 ・高齢者はつらつ活動拠点事業 ・高齢者大学 ・嘉麻川学習会 ・祖父母学級 ・遠賀町寿大学
家庭教育	15	1	16	32	・子育てサポーター養成講座 ・通学合宿 ・親子教室 ・家庭教育学級の自治公民館への出前講座
人権教育	12	3	8	23	・人権教育推進のための調査研究事業 ・なるほど人権セミナー
団体育成・サークル活動	17	5	10	32	・校区自治公民館長会
ボランティア活動	12	6	15	33	・はつらつ事業 ・コスモス花祭り ・里山の整備事業
国際交流	1		2	3	・国際交流のつどい
環境教育	6	1	5	12	・学びあい支えあい地域活性化推進事業
自治公民館活動	6	24	14	44	・一館一運動
学社連携・融合	14		5	19	・熟年マナビ塾と放課後子ども教室 ・科学実験教室 ・町内小中学校との連絡協議会の発足
男女共同参画	2	1	2	5	・男子厨房に入るべし！！
青少年教育	29	2	12	43	・はぐくみネット ・青少年の悩みの電話相談 ・ジュニアライフセービング教室 ・チャレンジ教室
地域づくり	38	19	27	84	・地域リーダー養成セミナー ・人材育成事業 ・ふるさと散策体験活動 ・コミュニティカレッジ ・福祉大会 ・地域づくり名人講座 ・「よか志摩フォーラム」
その他	10	2	1	13	・乳幼児ふれあい学級 ・市民大学講座 ・福祉事業（ふれあい弁当作り） ・男性料理教室 ・ふれあい体操 ・町民大学講座
無回答	14	4	11	29	
計	197	74	141	412	

6 希望するテーマ・発表内容等

< 公立 >

- ・ 「特色ある公民館活動」というのはとても興味あるテーマでした。
- ・ 成年層をいかに地域活動に取り込むかについて
- ・ 新成人のつどい等公民館としての取組
- ・ 障害者や高齢者など家にとじこもりがちな住民を対象とした内容のもの
- ・ 中・高校生の地域参加について
- ・ 地域リーダーの後継者づくり
- ・ インターネットの害、思いやりの心の不足といったことを皆で考える
- ・ 人材育成活動について
- ・ 団体育成について
- ・ 市民協働とコミュニティづくりにおける公民館の役割について
- ・ 地域教育力の向上について
- ・ 安全・安心に関する事例
- ・ ボランティアバンクの作成方法と活用について
- ・ 大学と連携した事業の事例

< 自治 >

- ・ 高齢者・認知症の今後の取り組みについて
- ・ 若い世代の地域伝統行事の参加について
- ・ 福祉とあわせて子育てについての自治公民館の事例
- ・ 地域活性化に向けて区民が元気ができるような事例
- ・ 独居者に対する公民館の取り組みについて

< 公立・自治記入なし >

- ・ 公立公民館と自治公民館との協働事業に関する事例
- ・ 地域資材を活用した美化活動について
- ・ 子育て・親育てなど家庭教育に関する事例
- ・ 地域づくり・地域活性化について
- ・ 校区民が公民館活動に参画しやすい方途について

7 意見・感想等

- ・ 発表は、類例が少ない特色のある内容のものを選定してほしい。
- ・ 発表者について、「輪番がきたので特別な事例ではないがとりあえず発表する」といった発表が2件あった。参加者は期待しているので、この点を改善してほしい。
- ・ 会場が狭い。音響・ビデオ画面が小さい。事前に参加人数を把握できないか。
- ・ 講堂は非常に寒い。(前回も)
- ・ 全ての実践発表を拝聴したい。御検討をお願いしたい。
- ・ 会場ではメモがとれるよう配慮してほしい。
- ・ 実践発表は非常に参考になった。公民館長のリーダーシップと意識の高さを感じた。
- ・ 男女共同参画事業は取り組みにくい課題ですので、討論会の形式にしてはどうか。
- ・ 今回、事前に発表資料が配布されていたので、会場の選択ができて大変よかった。
- ・ 資料がすべて準備されていたので、後で読んで参考にできるのでよかった。
- ・ 自治公民館の活動事例がもっと多くほしい。

平成 20 年度福岡県公民館地区別研修会

— 実 施 状 況 —

各地区の主体的な研修内容と併せて、県公連の活動や公民館を取り巻く状況等の周知を図る研修を県内 7 地区で実施しました。

地区名	期 日	会 場	参加者数	主 な 内 容
北九州市	2月18日	ウエルとぼた (北九州市)	450	<p>○講演：住民参画型のまちづくりを目指して 講師：日本ファシリテーション協会九州支部長 田坂 逸朗氏</p> <p>○事例発表（活動報告）（4事例） ・陣山市民センター・若松中央市民センター ・志井市民センター ・南丘市民センター</p> <p>○全体会（講評）</p> <p>□県公連報告—県公連の事業及び公民館を取り巻く状況等を報告</p>
福岡地区	2月21日	大野城市 大野城まどか ぴあ	180	<p>○現代社会における公民館の在り方 ～いま、公民館が「できること」「すべきこと」とは～</p> <p>○講演：公民館から広がる、地域のつながり～「まちの駅」から見えてきたもの～ 講師：佐賀市立勸興公民館 館長 秋山千潮氏</p> <p>○分科会（活動報告）（4事例）</p> <p>□県公連報告—県公連の事業及び公民館を取り巻く状況等を報告</p>
北九州地区	1月20日	宮若市 マリーホール 宮田	32	<p>○研修テーマ：これからの公民館の具体的あり方</p> <p>○講演：福岡教育大学 教授 井上豊久氏</p> <p>○研究協議 各市町からの現状報告</p> <p>□県公連報告—県公連の事業及び公民館を取り巻く状況等を報告</p>
北筑後地区	10月7日	小郡市 生涯学習センター	174	<p>○実践発表と協議 ・「人と人が交わり繋がりのある地域を求めて」（小郡市花立区公民館） ・「団塊世代への取り組み」（小郡市立三国校区公民館）</p> <p>○講演：持続可能な地域をつくる公民館活動 講師：山城千秋氏</p> <p>□県公連報告—県公連の事業及び公民館を取り巻く状況等を報告</p>

地区名	期 日	会 場	参加者数	主 な 内 容
南筑後地区	10月7日	柳川市 大和公民館	92	<p>○基調講演：地域コミュニティの中の公民館の役割 講師：大分大学生涯教育センター 准教授 岡田正彦氏</p> <p>○実践発表 「とびかたやま体験活動」 立花町中央公民館</p> <p>□県公連報告—県公連の事業及び公民館を取り巻く状況等を報告</p>
筑豊地区	11月18日	嘉麻市 生涯学習センター	71	<p>○講演：公民館のこれからの役割とは～「共働」を支える場としての期待を込めて～ 講師：九州大学 特任准教授 加留部 貴行氏</p> <p>○実践発表 ・生涯学習の視点にたった分館活動 嘉麻市嘉穂地区宮野分館長 石井 房雄氏</p> <p>○実践発表 ・地域づくりと自治公民館の役割 -「飯田区民センターの活動報告」- 嘉麻市碓井地区飯田公民館館長 大村幸三氏</p> <p>□県公連報告—県公連の事業及び公民館を取り巻く状況等を報告</p>
京築地区	11月11日	みやこ町 豊津公民館	75	<p>○研究主題：公民館として家庭教育支援をいかに推進していくか</p> <p>○実践発表 ・横武公民館活動について～女性の会の活動を通して～ (豊前市横武公民館)</p> <p>・みやこ町の家庭教育事業と公民館活動(みやこ町教育委員会)</p> <p>○講演：家庭教育支援と公民館活動 講師：九州女子短期大学 准教授 大島まな氏</p> <p>□県公連報告—県公連の事業及び公民館を取り巻く状況等を報告</p>
計			1,074	

※福岡市は市独自で研修会を実施。